

コース開設2周年 満ぷくオルレ

11月、九州オルレ南島原コースが開設して２周年となりました。これまで多くの皆さんに楽しんでいただいています。11月23日、コース開設２周年を祈念して「満ぷくオルレ」と題したイベントを開催し、約220人が参加しました。このイベントは文字通り歩きながら南島原の秋の味覚を堪能するもので、参加者はゴール時におなかいっぱいの様子でした。



男女総合 ９連覇達成!!

11月中旬の県民体育大会の陸上競技で、南島原チームが男女総合優勝しました。

選手の皆さん、おめでとうございました。



口之津中が奉仕体験

11月15日、口之津中学校３年生が奉仕体験学習を行いました。これは、自主性を育むことや、地域とのつながりを持つことなどを目的に口之津中学校が毎年実施しているものです。

生徒たちは丸１日かけて口之津町内の観光地や公園、学校などの清掃や農業体験に取り組みました。皆さん、ありがとうございました。







金溝（クング）小・中学校と有家中学校が交流

11月27日、金溝（クング）小・中学校（韓国金堤市）修学旅行団（22人）が有家中学校を訪問し、同校１年生（69人）と学校交流を行いました。

交流では、歓迎セレモニーを行った後、剣道の演武やレクリエーション、校内見学を行いました。有家中学校からは校内合唱コンクールに向けて練習中の歌を披露し、金溝（クング）小・中学校からは小学生によるダンスパフォーマンスが披露され、最後はグループに分かれて一緒に昼食をとりました。

生徒たちは言葉が通じない中でも、片言の英語や身振り手振りでコミュニケーションを取りながら交流を深め、わずかな時間でしたが有意義な交流となりました。





女性のマチ旅 ～南島原やっちゃヨカとこバスツアー～

11月24日、“自分の周り５メートルを楽しく”をコンセプトに活動している「ナガサキマチナカ女子部」が主催した「南島原女子旅モニターツアー」が開催されました。

これは、南島原支部の石川于津子さんらが中心となって、南島原市の魅力を長崎市内の女子に紹介し、発信していきたいという思いから企画したものです。参加者は地元に住む女子が自慢したい“ヨカとこ”をダイジェストで回りました。また、南島原の魅力をぎゅーっと集めた「やっちゃよか南島原マップ」も制作、関係各所に設置してありますので、皆さんご活用ください。







Focus in 南島原

まちの話題

Ｊ１（ゼイ ワン）での健闘を誓う Ｖ・ファーレン長崎が訪問

悲願のＪ１昇格を決めたＶ・ファーレン長崎。11月22日、同クラブの高田明社長、高木琢也監督（北有馬町出身）、吉岡雅和選手（布津町出身）、村上佑介キャプテンが市役所を訪れ、市からお祝いの花束を贈呈しました。なお、市役所西有家庁舎には昇格を祝う懸垂幕を設置しています。みんなでＶ・ファーレン長崎を応援しましょう！



いい夫婦の日に金婚式

11月22日、ありえコレジヨホールで「南島原市金婚式」を開催しました。今年は昭和42年に婚姻されたご夫婦が対象で、申込みがあった122組のうち68組が式に出席されました。

金婚夫婦代表謝辞で、竹馬勲さん・富子さんご夫婦（口之津町）が「市や地域の皆さんの支えがあって金婚式を迎えることができました。今後も市のために尽力していきたい」と話されました。





中村親方が化粧まわしを寄贈

11月29日、中村親方（元 佐田の富士関・加津佐町出身）が、現役時代に使用していた化粧まわしの寄贈と、約14年間の現役を引退し年寄「中村」を襲名したことを報告するため、市役所を訪問しました。

この化粧まわしは、初入幕後に地元後援会が贈ったもので、長さは約９メートルにもなり、彫刻家の北村西望さん制作の平和祈念像が表現されています。中村親方は「この化粧まわしは一番のお気に入りで、巡業の際もずっと使用していた。応援していただいた地元の方々に少しでも恩返しができれば」と話しました。



県スポーツ推進委員研究大会で発表

11月25日、第55回長崎県スポーツ推進委員研究大会が壱岐市で行われました。大会では、氏原巧さんと溝田民弘さんが登壇し、本市のスポーツ推進委員の活動について事例発表を行いました。その他、活発な意見交換が行われ、各市町のスポーツ振興の向上が期待されます。

南島原市スポーツ推進委員は、スポーツ振興に寄与することを目的に80人の委員で構成されています。